

【日本気象協会からのお知らせ】

2020 年 10 月 15 日
一般財団法人 日本気象協会

日本気象協会 豊島区立小学校で防災特別授業を実施 ～ FF パートナーシップ協定を結ぶ豊島区での防災普及啓発を推進 ～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、2020 年 10 月 5 日（月）に、FF パートナーシップ協定を結ぶ豊島区内にある、豊島区立千早小学校で防災特別授業を実施しました。



日本気象協会は、防災教育に役立てていただきたいとの思いから、防災教育絵本「ぼうさいスイッチ」を豊島区立の図書館、中学校、小学校、幼稚園、保育園、私立保育園に寄贈しています。今回、さらなる防災普及啓発のために、豊島区立千早小学校の 4 年生 64 名を対象に、気象災害をテーマにした防災特別授業を実施しました。

授業では「熱中症が気象災害だとは考えたことがなかった」「気象予報士の仕事に興味を持った」などの感想が児童から寄せられ、気象予報士による授業を熱心に聞く様子が見受けられました。

FF パートナーシップ協定（FF※協定）とは、豊島区の掲げる「わたしらしく、暮らせるまち。」を基本コンセプトに、子育て支援、健康増進、働き方改革、防災など分野ごとに行っていたさまざまな公民連携・協働を包括する形で、パートナーシップ協定を企業と締結するものです。豊島区と企業がお互いの強みを生かしたノウハウやリソースを活用して、住みやすく、働きやすい、誰もが自分らしく暮らせるまちを目指していきます。

なお、日本気象協会は 2018 年 6 月 11 日に豊島区と FF 協定を締結し、豊島区で開催するイベントへの協力や「としま scope」へのコラム連載、豊島区広報番組「としま情報スクエア」への出演などの情報発信を続けています。

2020 年に創立 70 周年を迎えた日本気象協会は、今後も気象コンサルティングサービスのパイオニアとして、未来を担う次世代の方々や子供たちへの防災知識の普及啓発活動を続けていきます。

※FF とは、Female/Family Friendly（女性/ファミリーにやさしい）の略です。

以 上